

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00450099
基幹・一般の別（選択記入）	特定一般統計調査
調査の名称	就労条件総合調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他（「労働経済の分析」等各種白書にデータが活用されている）
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<div><div><div><div><div><input type="checkbox"/> 1.調査の目的</div><div><input type="checkbox"/> 2.調査対象の範囲 ※</div><div><input type="checkbox"/> 3.報告者数等※</div><div><input type="checkbox"/> 4.報告事項とその基準期日 ※</div><div><input type="checkbox"/> 5.報告の方法 ※</div><div><input type="checkbox"/> 6.報告を求める期間 ※</div><div><input type="checkbox"/> 7.集計事項 ※</div><div><input type="checkbox"/> 8.結果の公表方法及び期日 ※</div><div><input type="checkbox"/> 9.使用する統計基準</div><div><input type="checkbox"/> 10.調査票情報の保存</div><div><input type="checkbox"/> 11.立入検査</div></div><div><div><div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div><div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div><div>報告を求めるために用いる方法</div></div><div><div>調査結果の公表の方法及び期日</div><div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div><div>基幹統計調査のみ</div></div></div></div><div>一部不整合あり</div></div></div>
-----------------------------	--

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性			不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)			対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
7. 集計事項※	<div><div>未集計</div><div>復元推計</div></div>	<div><div></div><div>○</div></div>	<div><div>未公表</div><div>その他</div></div>	<div><div>○</div><div>調査計画の変更申請</div><div>調査計画の軽微変更</div><div>業務マニュアルの整備充実</div><div>実施方法の見直し</div><div>その他</div></div>	<div><div>対応済</div></div>	<div><div>令和5年調査を対象とした調査計画承認時に、該当箇所を修正した。</div></div>
	特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 令和4年調査において、承認を受けた集計事項53表中1表の表題に誤りがあった。					

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<div><div>▣ 課題なし</div><div>▣ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）</div><div>▣ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）</div></div>
---	---

③ 必要な精度の確保・向上の観点

1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)			
	精度管理の目安と している指標区分 ※該当するものを 選択(複数選択可)		目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		達成精度	本調査は競争の導入による公共サービス 改革に関する法律（平成18年法律第51号） に基づく民間競争入札実施事業になっており、 確保されるべき質として、有効回答率 68.2%を目標に掲げていた。 ※令和5年度（令和6年調査）から目標と する有効回答率を61.1%に変更	平成20年度	令和4年調査 58.8%	令和3年調査 62.6%	令和2年調査 65.4%
	○	回収率・回答率					
		回収調査票数					
		カバレッジ					
		その他					
		設定なし					